

総括質疑

新年度予算や市長の施政方針に対する総括質疑の一部を掲載します。
会派は、平成31年3月現在で掲載しています。

新風会

追川 徳信 議員

質疑 平成31年度予算編成の重点と具体的な施策等の効果は。

答弁 平成31年度も徹底した事業費の削減、重点事業の積極的な推進、人件費の圧縮の3つを基本方針に掲げ、市内経済の活性化と市民福祉の充実に向けた予算編成に取り組んだ。なお、就任当初から実施した各種ビジネス施策等の効果もあり、市税収入は回復基調で推移し、前年度比3.4%の増加を見込んだ。

質疑 くらぶちこども天文台の整備により、地域の活性化が進むと考えるが、運営内容は。

答弁 子どもたちへの教育の場や市内外からの誘客の場として、倉洲地域の活性化を図る天体観望施設を設置する。当面は直営の文化施設と位置付け、天体観望会の開催業務を地元の宿泊



「新しい高崎」の政策実現に向けて



施設に委託し、専属スタッフとボランティアの協力により開催する。

質疑 将来を見据えた高浜クリーンセンター建設の進捗状況と今後の予定は。

答弁 本体工事はプラント設備工事の請負業者が決まり、設備機器等の設計を進めている。平成34年度中の完成を目指し、土木建築工事の設計業者のプロポーザルを実施し、30年度中に契約締結予定である。新規施設の整備として31年度に既存の長寿センターやテニスコート等の解体作業を進めていく。

公明党

新保 克佳 議員

質疑 雇用吸収力の高い企業の進出が必要であると思うが、今後の工業団地造成や企業誘致の考えは。

答弁 総合卸売市場の隣接地で「高崎354複合産業団地」の整備を進めており、現在公募受け付け中である。今後も安定した税収を確保するため新たな雇用の創出や優良企業の誘致が必要である。また、福祉・医療・教育・子育て環境整備を同時進行し、取り組みに対するPRや優遇制度を企業誘致活動と合わせて進めたいと考えている。

質疑 高齢者あんしんセンターのこれまでの業務状況を踏まえ、事業の検証と評価、改善方法は。

答弁 事業の実施状況を毎年評価しており、介護保険運営協議会との議論を踏まえ、高齢者の総合窓口を増設するなどの機能強化を図っている。現在29カ所のセンターがあり、職員1人を増員し、十分力を発揮できるように配慮したい。



市民クラブ

中島 輝男 議員

質疑 交通弱者への移動手段の確保が喫緊の課題だが、今後の交通体制の整備は。

答弁 本市では、高崎市地域公共交通会議を設置し、警察署や学識経験者をはじめバス協会など交通事業者関係者を委員として、公共交通網の構築に向けた協議を各支所単位で継続して実施している。今後もバス、タクシー等の交通事業者と住民との情報共有や連携強化を図り、施策の検討を進めていきたい。

質疑 地域行政区の役員の確保と負担軽減に向けた取り組みは。

答弁 地域行政区の役員の負担感や、町内会運営の負担とともに増大しており、即効性のある対策がない。負担が集中している現状を改善するには、日頃から地域住民が協力する雰囲気構築することが第一歩と考え、子どもからお年寄りまでが参加しやすい行事を研究し、地域の主体性を生かした取り組みを推進したい。



日本共産党

依田 好明 議員

質疑 基金を活用した国民健康保険税の引き下げと資格証明書廃止の考えは。

答弁 平成31年度は県から示された保険税率で約8億円の不足が見込まれ、国保基金を活用した。今後も県の国保財政を注視しながら慎重に対応したい。また、資格証明書は、公平性と納税相談の機会の確保から交付するもので緊急に受診を必要とする場合は、1カ月の短期被保険者証に切り替えるなど柔軟に対応し受診機会を確保している。



さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については6月上旬に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館（本館及び地区館）
- ・倉洲公民館図書室



一般質問

市政を問う

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。質問者順に掲載しています。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、平成31年3月現在で掲載しています。



市長3期に向けての実績と抱負

田角 悦恭 (新風会)

質問 第6次総合計画案が承認され、計画に沿って強力に推し進めることが重要と考える。市長3期に向けて、これまでの主な事業の実績と抱負は。

答弁 本市では経済・ビジネスの発展を活力とし、福祉・医療・教育の充実や子育て支援、環境政策など約150項目の事業に取り組んだ。市内の企業は90%以上が中小企業のため小口融資の際、保証料の全額補助と創業者融資での利子補給を5年間全額支援してきた。活力ある若者が創業するこ

とで集客にもつながり、地元創業を後押しする具体的な手法で支援してきた。また、合併により農業政策が大きな役割を担う中、農業もビジネスと捉え、地産地消から地産多消へと展開し、首都圏を販売先とした販売拡大奨励金制度を創設し広報活動を行った。今後も、新しい高崎を目指すし、市民が求める施策を継続しながら全国一の地方都市を築き上げ、これまでに以上に市の発展に全力を尽くしたい。



新町駅エレベーター整備事業

松本 賢一 (新風会)

質問 新町駅付近連続立体交差化事業を毎年県に要望しているところだが、早急な整備が期待されている新町駅エレベーター整備の工事の進捗状況は。

答弁 本年4月にJR東日本と施行協定を締結し、工事に必要な重機を設置する場所の確保のため、駅に隣

接する自転車駐車場の一部を月決め駐車場と放置自転車置き場に移設する。JR東日本は、10月から下り線側のエレベーター工事を先行し、次に上り線側に着手する予定である。平成33年6月の工事完成を目指している。

質問 新町防災体育館（仮



地域の役職受け手不足問題

清水 明夫 (新風会)

称 建設整備を進める中で、利用者や地域住民の意見を反映する考えは。

答弁 災害時の避難所機能を持たせた体育館であるが、平常時にはスポーツ競技大会など多くの人に利用され

質問 地域コミュニティの衰退で、町内会における役職の受け手が減っていることに対する現状と対策は。

答弁 少子高齢化や個人の価値観の変化により、区長等役員の受け手がいない地域もある。本市では、地域住民が顔見知りになることが第一歩と考え、お祭りや運動会など誰もが参加しや

る施設にしたいと考えている。平成31年度から設計に着手するが、設備や利用方法などに加え、芝生広場の利活用についても住民の意見を聞き検討していきたい。



質問 農地等利用の最適化に向けた3つの活動の柱、農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進、それぞれの取り組みは。

答弁 農地利用の集積・集約化は、農業者からの情報により貸し手と借り手のマッチングを行っている。耕作放棄地は、農地パトロールで農地状況を把握し、所有者への利用意向調査に基づき正をお願いしている。また、県と市、農業委員会、就農希望者の経営意向を共有することで相談業務を円滑に実施し、新規就農者の育成に努めている。



永年動続区長表彰式